

パートナー企業様の多様な取り組みをご紹介します！

発行：2026年7月

【特集1】第3回S I パートナー会 in 広島—全国のパートナー企業が集結

6月25日（木）、トータテハウジング様のご協力のもと、広島県広島市にて「第3回S I パートナー会」を開催しました。
当日は、新たに加盟いただいたアルプスピアホーム様を含む、パートナー企業の代表者の皆様にご参加いただき、物件見学会、情報交換会、懇親会の3部構成で実施いたしました。
全国から経営層の皆様が一堂に会し、S I 事業の販売戦略やブランディング、今後の展開について情報共有が行われました。



積水ハウスからはS I 事業の目指す方向性や社会的意義をご説明し、パートナー企業の皆様からは各社の取り組み状況や成果、今後の展望についてご紹介いただきました。



■トータテハウジング様「IDEA」見学会の様子



■懇親会の様子

■ワイドリビングによる回遊性の高いプランが好評だった、トータテハウジング様の建売4棟



テーマ 積水ハウスの開発者に聴く耐震性の伝え方「D」構法の訴求ポイント」（アーカイブ動画は[こちら](#)）

▶全体的な傾向

満足度・役立ち度ともに非常に高く、多くの皆さまから「実務に活かせる内容だった」との評価をいただきました。特に、D構法の特徴や差別化ポイントをお客様へどのように伝えるかという視点が好評で「営業トークに活用できる」「説明の幅が広がった」といった声が多く寄せられました。

また、地震被害の実例や構造データなど、根拠に基づいた説明も高く評価されました。

「なぜ強いのか」を理解することで、お客様へより自信を持って提案できると感じていただけたようです。

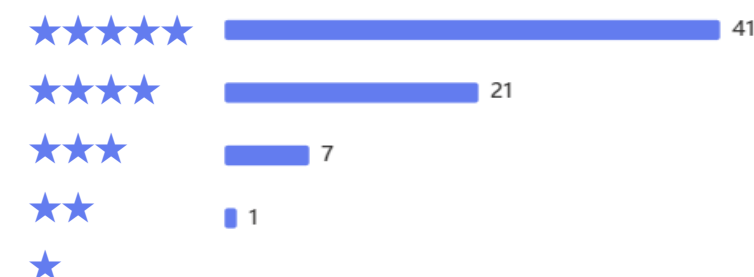
一方で、「もっと詳しく聞きたい」「競合メーカーとの比較も知りたい」といった前向きなご要望も多数いただきました。

参加者の皆さまの関心の高さと学ぶ意欲が感じられる結果となりました。

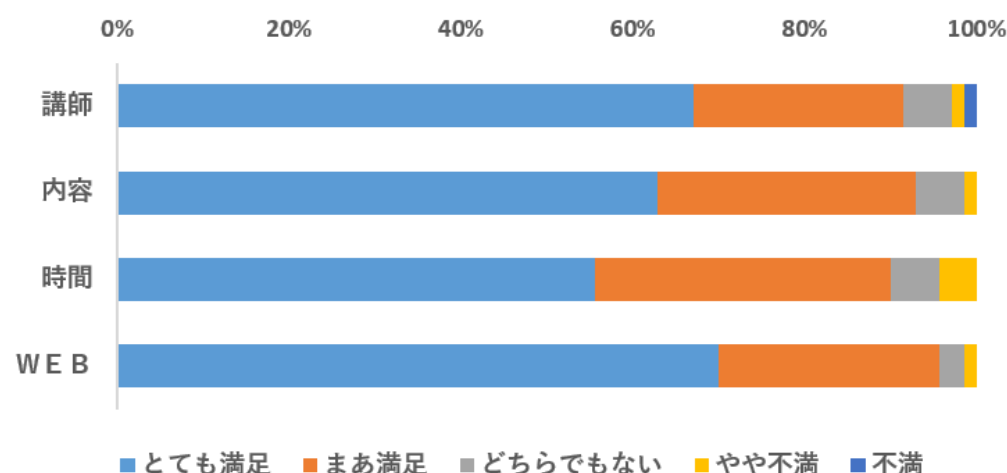
今回のセミナーが、D構法の魅力をより分かりやすく伝えるためのヒントや、自社ならではの提案力向上につながる機会となっていれば幸いです。

4.46

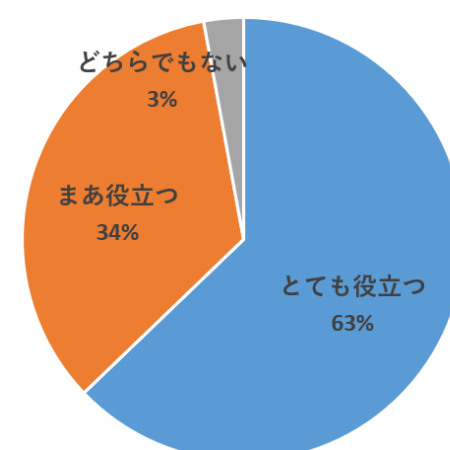
平均評価



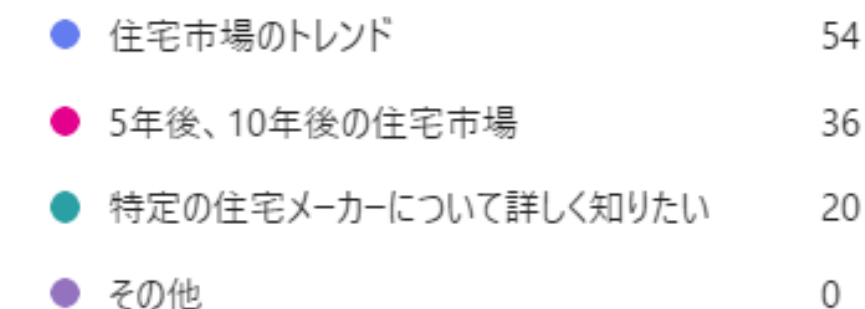
項目別満足度



お役立ち度



次回、JSKセミナーで希望するテーマ



1. 営業職（一般～管理職）

- ・D構法の強みを顧客へ説明するための営業トークが参考になった。
- ・耐震性や基礎構造など、他社との差別化ポイントが理解できた。
- ・商談や販促活動に活用できる具体的な訴求方法が得られた。
- ・地震実績や実験データを用いた説明に説得力を感じた。
- ・顧客向けにそのまま活用できる資料やツールが欲しい。

2. 設計・技術職

- ・D構法の構造的優位性や基礎・耐力壁の考え方が理解できた。
- ・構造のロジックが整理でき、営業支援にも活用可能と評価。
- ・工法開発の背景や設計意図まで理解できた点が好評。
- ・技術的な内容をさらに深掘りしてほしい。
- ・他工法（2×4、SE工法等）との比較説明が欲しい。
- ・D構法のデメリットや制約条件も知りたい。

3. 商品企画・開発・マーケティング職

- ・SI事業の販促活動や情報発信に活用できる内容だった。
- ・広告・販促資料への転用イメージが持てた。
- ・実際の訴求事例や営業現場の活用方法が参考になった。
- ・市場動向や将来予測など、経営やマーケティング視点の情報も拡充してほしい。
- ・他社事例や成功事例をさらに増やしてほしい。

4. 管理職（部長・本部長・役員等）

- ・SI事業の差別化ポイントを再認識できた。
- ・自社の強みと積水ハウスの強みを比較しながら整理できた。
- ・事業推進や営業力強化のヒントとして有益との評価。
- ・競合メーカー分析をより体系的に聞きたい。
- ・将来の住宅市場動向や中長期戦略テーマへの関心が高い。

【セミナー受講者からの質問】

Q 1：弊社の2×4工法の商品は、許容応力度計算による耐震等級3+制振装置が標準です。

上記とSIとでどちらが耐震性が高いかお客様から聞かれた時、営業が明確に答えられていません。どのような説明がいいと思いますか？

A 1：許容応力度計算や制震装置はそれぞれ様々なレベルのものがある事から一概に優劣をつけることができません。（高い耐震性は構造の安全性の確認方法や耐震等級だけでなく、材料の品質や施工精度等も必要となることから、構造の確認方法と耐震等級だけで一概に優劣を判断できないという事もあります。）
また、1社の中で「耐震性の良いものと悪いものがある」といった説明は受け入れにくいと推測されますので、「御社の商品もDJ構法の商品も許容応力度計算と耐震等級3の高いレベルの耐震性を提供しており、その上で、過去の震度7の大地震の際に（20万棟以上の住宅が）全半壊ゼロであった信頼度の高い積水ハウスの耐震技術を搭載したD J構法をおすすめいただけますと幸いです。
耐震性の優劣だけでなく、「実現できる空間が異なる」（選択肢が増える）ことも合わせてご説明いただければ、商品ラインナップの充実にもつながるのではないかと思います。

Q 2：私が接客で「なぜ他社は土台を使用しているか」を説明する時は、「他社は基礎の天板がガタガタで柱を真っ直ぐ建てる事ができない」、
また「基礎と柱をつなげる術がない為地震に弱いとされる土台をせざるおえない」と話してます。他社鉄骨造のメーカーは基礎天板は積水さんと同様に綺麗に仕上げる事が可能なのですか？
弊社はSE工法も採用しており、弊社職人が基礎の施工をしてるのですが、ガタガタのまま建ててる事はないと思いますがどうでしょうか。

A 2：鉄骨造を採用しているのは大手住宅メーカーが多く、比較的高い精度の基礎を実現されていると思います。
（重量鉄骨造の場合はグラウトと呼ばれる無収縮の充填剤を基礎と柱の間に入れることで基礎の精度を補っています。）
SE構法の場合、アンカーボルトが1本だけの為、DJ構法に比べて位置合わせがしやすい上に、柱脚金物の穴が大きめにつくられているので、アンカーボルトにはそれほど高い精度は要求されません。
※基礎の精度については①基礎自体の精度、と②アンカーボルトの位置や傾き等、の2つのポイントがあります。

Q 3：DJ構法の弱点を教えてください。

A 3：強いてあげるとすれば、パートナー企業様の工法に比べて価格が高くなることが挙げられます。
また、営業トークの面から見た場合、基礎上の金物の結露が心配とおっしゃる方がいらっしゃいますが、夏型結露が起こらないことを確認しており、
万が一夏型結露が起こったとしても、内部の柱脚金物が柱に直接接触しない様に水密材を設置していますのでご安心下さい。

Q 4：現在SIコラボで全国で実績を積み重ねてらっしゃるかと思いますが、他社様との連携で事業を進める中で、良かった点、悪かった点等もしあれば教えていただきたいです。

A 4：・良かった点：自社にない文化や技術、制度等、新しい視点や知見を相互に得られたことです。
・課題点：遠方の企業様との情報交流がWEB会議中心になってしまうことです。よりコミュニケーションを図り、連携を強化していきたいと考えています。

Q 5：下水管 排水管が基礎工事に影響するのですが 注意 通常ではない点 メリットデメリットについて確認したい

A 5：普段「べた基礎」を採用されているようであれば、「布基礎」の特長に配慮いただく必要があります。
「べた基礎」は基礎の外側にベースが出ることはほとんどありませんが、「布基礎」の場合は基礎の立ち上がりの外側にもベースが出ており、
地耐力や建物の荷重状態などに応じてベースの幅が変わります。
そのため、給排水の配管や外部の擁壁や土留め等との干渉がないかチェックが必要となります。
詳細は「DJ構法設計基準書【基礎】」をご覧ください。

Q 6：基礎のコンクリート強度について知りたい。

A 6：基本的に設計基準強度は24N／mm²です。（状況などにより24N/mm²以上の強度のものを使うこともあります。）

SI事業の今後の展開は？

SI-COLLABORATION イベントカレンダー

検討中のものも含め、SI事業関連の主なイベントをご紹介します。

2026年 7月10日 S I パートナー企業様限定セミナー「DJ構法の訴求ポイント」（アーカイブ動画は[こちら](#)）

11月13日 J S K 「住宅産業研究所」 S I パートナー企業様限定セミナー 開催予定

※予告なく変更や中止をすることがありますが、ご了承をお願い致します。

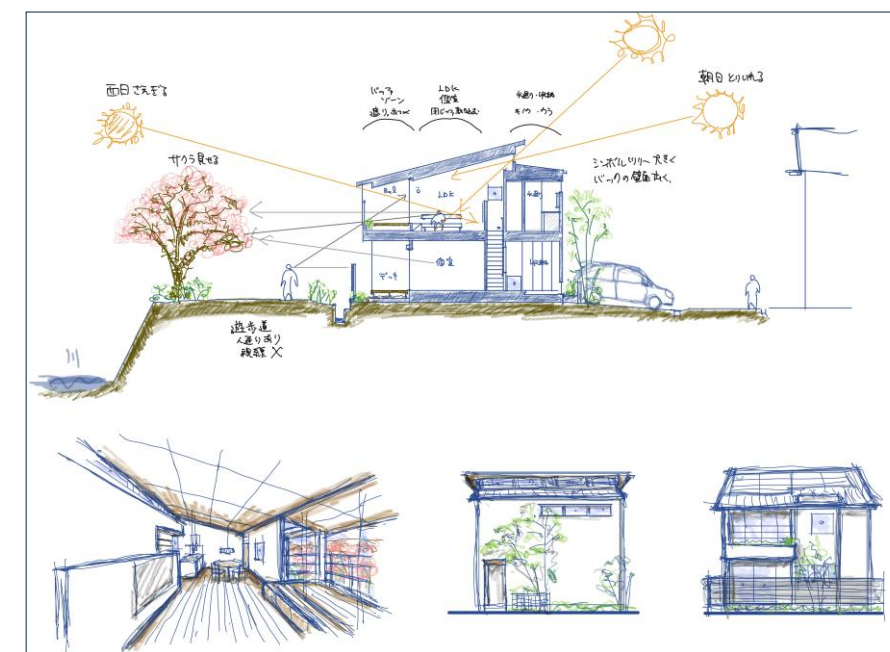
積水ハウスSI-COLLABORATION 公式Instagram

Instagram : https://www.instagram.com/sekisuihouse_si/

フォローならびに、拡散をお願い致します！

積水ハウスSI戦略室の社員がSIコラボレーションで家を建てていくところも公開中！！

この冬完成予定！フォローして見守ってください。



完成予定パース